

「総合的な学習の時間」のテーマについて

1・テーマ設定の4つの視点

以下の4つの視点をもとに、総合的な学習の時間で育てる生徒像を考え、テーマ設定を行う。

<p>学校の教育目標</p> <p>総合的な学習のねらい(学び方, 生き方) 自ら学ぶ力をつける 自己の生き方を考える。</p> <p>生徒の興味・関心 表層的な興味関心ではなく、深層的な興味関心をどう引き出すか</p> <p>学校の人的・物的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒がひとりである ・インターネットへの接続環境は比較的整っている ・地域の人は学校に協力的 ・全教科専門の教師がそろっているわけではない <p>……交流の必要性</p>
--

総合的な学習の時間でめざす生徒像, 育成したい力を考え, 更に生徒の発達段階を考慮しながら, 今年度(各学年)のテーマを設定していきたい。

2・生徒の実態

提出プリントから

- ・ 指示に従って素直に行動するが, 自分で創意工夫して行動を起こすことが少ない。永年の習慣からか, 授業中も板書を写したり, 口頭で言ったことは記録するが, 自分の頭で考えて答えを出そうとする意識が低いようである。やり始めたことを最後までやり遂げようとする意欲が持続しない
- ・ 本校生徒は過疎化が激しい僻地校で現在生徒1名の小規模校である。本生徒は大集団の中で意見を言い合ったり生活をしたりする機会が乏しく, 交流学習で本校へ行くこと萎縮しておとなしくなる。また, 授業中は主体的に取り組み自分の意見や考えは積極的に発表するが, 考えが浅く物事を深く追求することは苦手である。
 - ・ 自分で課題を見つけ, 追求していこうとする意識が低い。
 - ・ 興味関心が高い物事に対しては鋭い観察力と行動力を持っている。
 - ・ いろんな角度から物事を見て考える応用力が低い。
 - ・ 部活動や, 本校での様子を見て, 消極的なところが見られた。もう少し積極的になれたらと思う。
- ・ 体力に自身がないということなので, 心身ともに鍛えていく必要があると思う。

以上のことから考えられる, 本校生徒に不足していると思われる力
創意工夫する力・応用力

積極性・主体性
最後までやり遂げる力・忍耐力
コミュニケーション能力

3・総合学習でめざす生徒像

提出プリントから

- ・自ら考え，自ら問題解決に当たる態度
- ・今まで身につけてきた基礎学力をもとに創意工夫する能力を高める
- ・根気よく最後まで取り組める忍耐力を身につけさせる．
- ・誰とでも気軽に接することができ，集団の中で自己を生かせる能力を育てる．
- ・学習の仕方，まとめ方，発表力を高める
- ・自ら課題を見つけ，取り組む積極性を身につけてほしい
- ・物事を多面的に見て，さまざまな事柄に興味関心を抱き，自ら内容を深めていくことのできる生徒
- ・生徒自らが課題を見つけ，計画に従って主体的に問題を追及し解決する資質や能力を育てる．
- ・学び方やものの考え方を身に付け，主体的に学習をすすめる上で必要な能力を習得する．

自ら学ぶ生徒・主体的に学ぶ生徒

- 主体的に学ぶ生徒を育成するために，学び方を学ぶ。
- ・ まとめ方・発表力・計画の立て方・課題のを見つけ方など
……今後の研究課題
- 総合的な学習を進める中で，創意工夫する力・応用力・積極性・主体性
最後までやり遂げる力・忍耐力・コミュニケーション能力などを養う．

4・テーマ及びテーマ設定の理由

提出プリントより

『ふるさと六島』

「六島分校の卒業生は今？」

- ・ 分校が終わるにあたり分校の歴史を振り返ってみると共に，卒業生の活躍を知ることにより自分の将来の望ましい生き方を見つける．

「島と本土」

- ・ 生物の種類 いくつかの生き物にしほり分布と環境のかかわりに付いて考える.)
- ・ 人々のくらし(伝統行事を通して島と本土のつながりや違いを比較し人々の生き方について考える.)
- ・ ふるさと料理(食文化について考える)

「海」

- ・ 環境(磯やけ，海水温の変化，海水汚濁，海岸のゴミ)

六島島民のルーツ

『六島の海のごみ問題を考える』～ 海岸の漂着物調査を通して

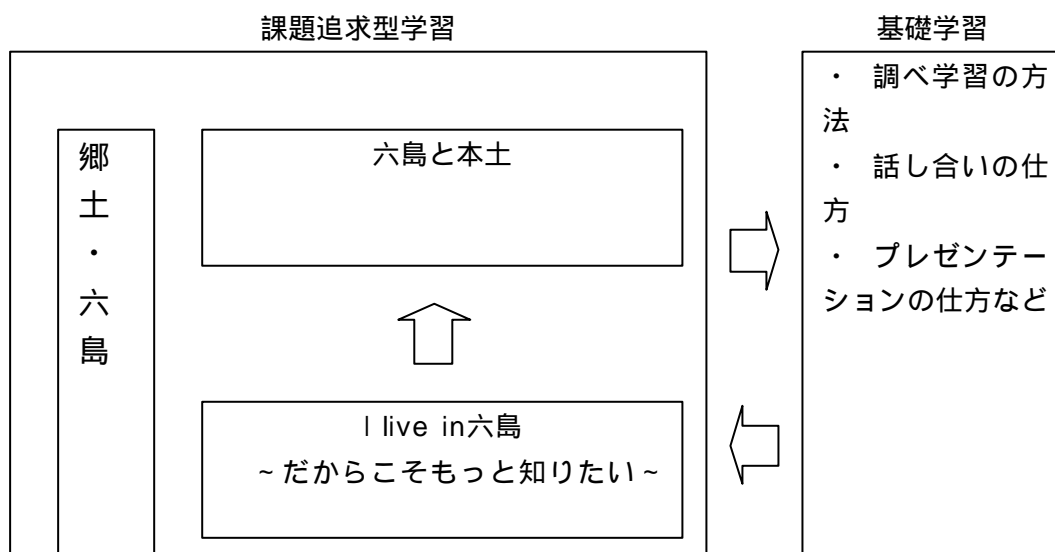
昨年度正輝君は、「六島の漁場」という題で料の方法や漁獲量の調査を行い、年々減少する漁獲量を環境問題と結び付けて考えることができた。今回は身近な環境問題として六島の海岸に流れ着くゴミに着目し、漂着物の分類・漂着理由・込みを減らす取り組みなどを調査する活動を通して、地域の問題から世界規模にまでゴミ問題を発展させて考えさせることを目的として本テーマを設定した。

『六島 in 小値賀』～ 中の六島～

まず、昨年度の郷土学習を発展させたものがよいと考えた。そして、“外に目を向けさせる”という考えにも大賛成でしたので、その第一歩として小値賀へ目を向けてはどうかと考えた。小値賀ならば多少知識もあるだろうから、興味・関心も持ちやすいのではないと思う。まずは自分の興味のあることから調べ、そしてその後は佐世保でも長崎県でも日本でもスケールを大きくしていても良いのではないかと思いいサブタイトルをつけた。そこをどう広げていくかは、生徒次第であるが……。

共通するテーマとして、**郷土・六島**が考えられる。

そこで、「郷土・六島」今年度の総合的な学習の時間の柱にし、テーマを以下のように考えたい。



総合的な学習の時間を推進するに当たって

- ・ 交流の場を数多く設定する
- ・ 体験学習(自然体験・社会体験等)の場面を設定する
……フィールドワーク